

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	高齢者の地域生活支援の充実		施策番号	4
主担当部署	部名	部長名		
	保健福祉部	小林 幹夫		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり
		施策展開の方向	2	みんなで支え合う福祉のまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	地域、市民、行政、事業者等が連携し、地域の人々の支え合いや見守りによる地域福祉活動が活発なまちをつくり ます。 高齢者の就労やボランティア活動など、社会参加の機会を充実するとともに、障害者の地域生活や就労を通じた社会参加を支援し、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる福祉のまちをつくり ます。			
施策内容	高齢者がこれまで培った知識や経験を身近な地域社会で生かし、生き生きとした暮らしを送ることができるよう、高齢者の就労やボランティア活動、教養趣味活動などの社会参加の仕組みづくりなど、高齢者が地域で交流し、活躍できる環境をつくり ます。 また、介護予防の普及啓発に努めるとともに、地域で暮らす高齢者の生活全般をサポートするための機能を強化し ます。			
目標とする状態	就労やボランティア活動、趣味を通じた自己啓発や仲間づくりなどの社会参加を活発に行う、元気な高齢者が増えて います。			
目標の達成度 を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	高齢者の就業率		17.8%	23%
	要支援・要介護認定率		15.3%	現状維持
施策を構成する 「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	高齢者生きがいづくり推進事業		高齢者に多様な就業機会やボランティア、教養趣味活動などの社会参加活動の機会を提供し、高齢者が生きがいをもち、活動できる よう支援します。	
	いきいきシニア事業		介護予防活動を担う人材の育成、ミニデイ(サロン)への支援、介護予防教室の開催など、すべての高齢者を対象に、要支援、要介護状態になることを予防する取組を行います。	
	地域包括ケア体制構築事業		地域で高齢者を支える地域包括支援センターの機能の充実を図り、同センターを中核とした地域包括ケア体制の構築を進めます。	



事業実施 (Do) へ

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段:達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	高齢者の就業率	17.8%	23%	↗	—	—	—	19.60%
要支援・要介護認定率	15.3%	現状維持	→	15.5%	15.6%	16.3%	15.8%	
					98.7%	98.1%	93.9%	96.8%

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	94,444	千円	90,273	千円	100,203	千円	120,948	千円	126,567	千円
	人件費合計(b)	15,991	千円	16,608	千円	16,352	千円	16,352	千円	16,352	千円
	トータルコスト(a)+(b)	110,435	千円	106,881	千円	116,555	千円	137,300	千円	142,919	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見	
	満足度	施策の値	0.41		↑ 重要度 ↓	← 満足度 →	A B C D		A 優先的課題 B ニーズ充足 C 現状維持 D 選択的課題
		平均値	0.32						
	重要度	施策の値	1.36						
平均値		1.20							

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	04-101	高齢者生きがいづくり推進事業	シルバー人材センター就業者数	680人	740人	658人	○	介護高齢福祉課
2	04-102	いきいきシニア事業	介護予防教室開催回数	480回	510回	1086回	◎	介護高齢福祉課
3	04-103	地域包括ケア体制構築事業	包括支援センターの設置箇所数(累計)	地域型4カ所	基幹型1カ所 地域型4カ所	地域型4カ所	○	介護高齢福祉課
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	04-101	高齢者生きがいづくり推進事業	B	B	A	B	A	介護高齢福祉課
2	04-102	いきいきシニア事業	A	B	A	A	A	介護高齢福祉課
3	04-103	地域包括ケア体制構築事業	A	B	A	A	B	介護高齢福祉課
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

指標(施策の目標)の達成度評価 [選択・記入]	<input type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input checked="" type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	D	左記判断理由	「高齢者の就業率」は、シルバー人材センターの就業率を元にした推計になるが、平成29年度見込みは19.6%になり、目標の達成は見込まれない状況である。 「要支援・要介護認定率」は、第1号被保険者が確実に増加する中で、当初値の現状維持はできないが、15%台は達成できる見込みである。
「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	A	取組による成果	高齢者の社会参加を促進し、生きがいを持って生活ができるように、シルバー人材センターの運営支援、教養趣味講座の開催、老人クラブ活動の支援を行った。 また、高齢者が元気に日常生活が送れるように、介護予防教室を地域包括支援センターと協力して行った。
市民意識の反映 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 反映している(A) <input type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	A	左記判断理由	平成27年度に行った市民意識調査では満足度が平均点を上回っており、前回調査と比較しても満足度は上昇しており、ニーズは充足されていると考えるが、高齢者が住みやすい環境づくりを進めて欲しいとの自由意見もあることから、引き続き、高齢者の社会参加を促し、元気で生きがいを持って生活ができるように、本施策の更なる推進を図る。
施策を取り巻く環境変化	高齢化の進展に伴い、支援を必要とする高齢者が増加しており、要介護認定等を受ける割合が高くなる75歳以上の高齢者が増加傾向にある。 また、介護保険制度の改正に伴う、介護保険制度の運営、住民主体の多様なサービス提供体制整備など事業が多様化、複雑化している。			
施策推進上の課題	要介護等認定者、支援を必要とする高齢者の増加に対応するためには、地域包括支援センターの運営体制の充実が必要であり、相談内容の多様化、複雑化に対応したきめ細かな相談体制が求められている。 また、75歳以上の高齢者が増加傾向であることから、要支援・要介護認定率の上昇が見込まれるため、介護予防の普及啓発に努め、上昇率を抑えていくことが必要である。 あわせて、高齢者が元気に生きがいを持って生活するためには、高齢者の社会参加を促進していくことが必要である。			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

今後の方向性の判断	取組の方向性 [選択]	<input checked="" type="radio"/> 拡大して実施 <input type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	要介護等認定者の増加に伴い、予測される介護保険給付費の増加を抑制するために、生きがいづくり事業や介護予防事業を着実に実施し、元気な高齢者を創出し、サービスの担い手として地域で活動できるような仕組みづくりを進めるとともに、新しい介護予防・日常生活支援(総合事業)についても推進する。 また、要介護等認定者の増加、相談内容の複雑化等に対応するため、地域包括支援センターの体制強化を図る。
	施策の方向性 [選択]	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	高齢者が地域で元気に生活ができるよう、高齢者の生きがいづくりや、介護予防事業による元気な高齢者を創出するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる地域づくりを進める。